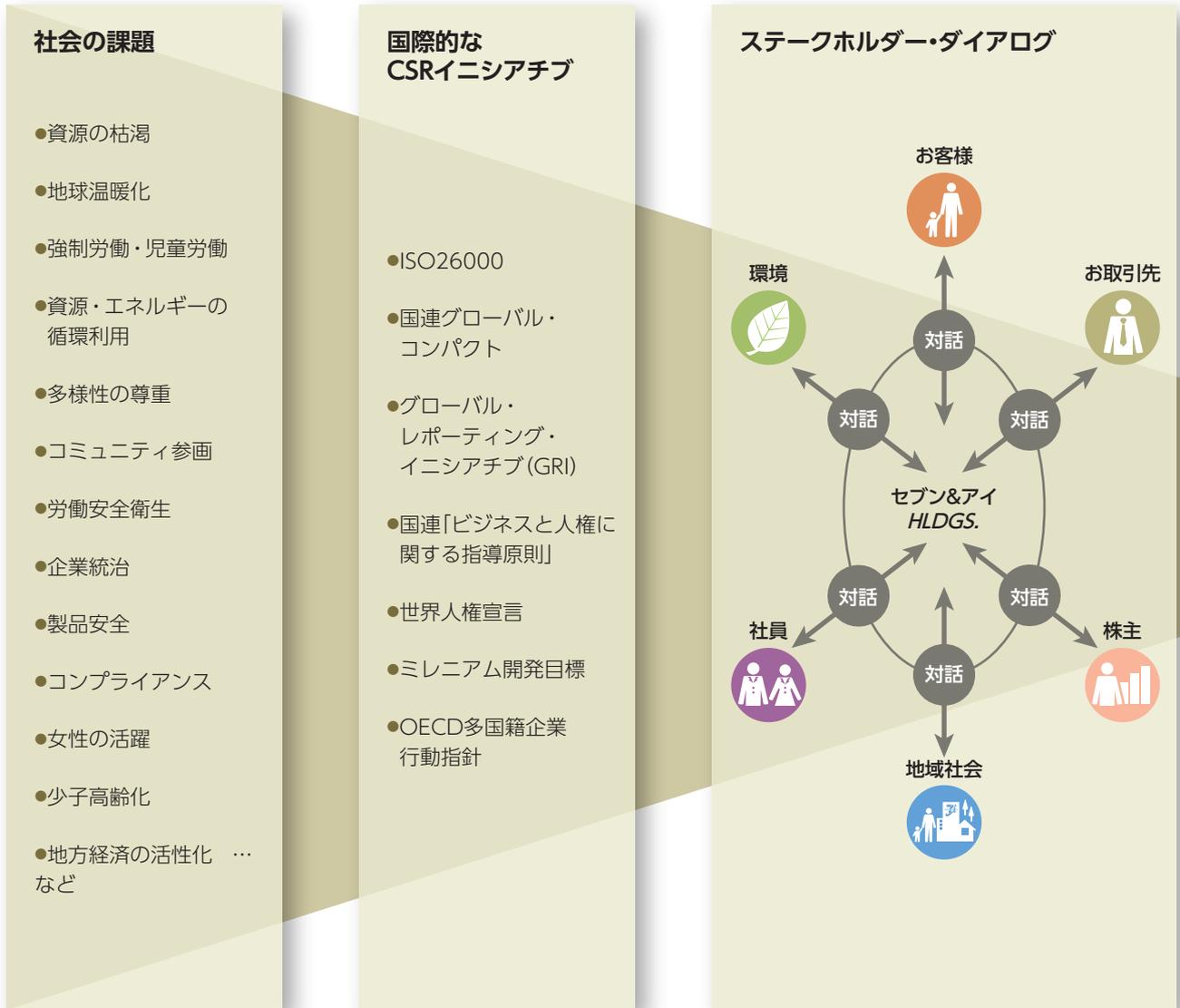


事業の特性を踏まえた重点テーマを定め、
持株会社としてグループのCSR経営を推進しています。



セブン&アイHLDGS.は、さまざまなステークホルダーや地球環境に配慮した活動をしていくために、ISO26000やGRIのガイドラインなどの国際的なCSRイニシアチブを参考に、昨今の社会的要請や社会が抱える問題を継続的に検討、それらの中から企業が積極的に解決しなければならないもの、企業が解決などに貢献できるものなどを抽出しています。

抽出した課題をもとにグループの事業特性を踏まえ、グループが取り組むべき課題や社会的課題の解決に貢

献できる取り組みとは何かを洗い出しています。2009年には、社外有識者とのダイアログを通じて、重要事項を定めたことなど、その過程においては、お客様、お取引先、株主、地域社会、社員などのステークホルダーの皆様とさまざまな対話の機会を設けて、常々ご意見、ご要望をいただいたうえで、「グループとしての重要課題」を整理・分類することを継続的に実施しています。

今後も具体的施策を継続的に講じることで、セブン&アイHLDGS.全体のCSR活動を一層深化させていきます。

事業特性を踏まえた5つの「CSR課題」

CSR重点事項：

企業統治・マネジメントの強化

- ①内部統制強化
- ②CSRマネジメントの強化
- ③コンプライアンスの浸透
- ④公正取引の推進
- ⑤企業倫理の確立
- ⑥CSR調達の推進

事業特性との関係

事業領域の拡大にともなうグループ企業数の増加に対する企業統治の強化。



CSR重点事項：

安全・安心な商品・サービスの提供

- ①商品とサービスの品質・安全性の確保
- ②適切な情報提供
- ③お客様への誠実な対応
- ④安心して利用できる店舗・設備の整備

事業特性との関係

プライベートブランド「セブンプレミアム」の拡大による、より一層の安全性の確保。



CSR重点事項：

働きがいのある職場づくり

- ①能力向上支援
- ②公正な評価・処遇
- ③ワークライフバランスの実現
- ④多様な人材の活用
- ⑤労働安全衛生への配慮

事業特性との関係

グループの成長に欠かさない女性が活躍できる職場環境づくりの推進。



CSR重点事項：

地域社会との共生

- ①育児や高齢者支援など
- ②地域活性化への協力
- ③災害時の支援
- ④地域防犯対策

事業特性との関係

出店地域における地域との共生や地域活性化への協力支援。



CSR重点事項：

環境負荷の低減

- ①環境負荷の適切な把握
- ②エネルギー効率の向上と再生可能エネルギーの導入
- ③廃棄物の削減と循環型社会の構築
- ④生物多様性への対応
- ⑤環境に配慮した商品の提供
- ⑥従業員への意識啓発

事業特性との関係

事業拡大に比例して環境負荷が増大しないための継続的な省エネの推進。



※1 グラフ数値はいずれも2013年2月末現在 ※2 2009年度を100とした指数
 ※3 セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカドー、そごう・西武、ヨークベニマル、セブン&アイ・フードシステムズ、セブン銀行の6社合計数値